

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。間然すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(= 継続掲載項目)

ご意見・ご要望	改善等
スタッフのマナーについて	『香水のつよい先生がいます。気分が悪くなりました』とのご意見を複数いただきました。診療科の責任者を通じて該当する医師に注意を致しました。今後ともスタッフの身だしなみやお気付きの点はお申し付けください。ご意見ありがとうございました。
病衣のポケットについて	『病衣のスポンにポケットを付けて欲しいです。ハンカチ等を入れたいです。』とのご意見を複数いただきました。 病衣にポケットをつけて運用した病院の事例の中に、ポケットの中に小物を入れたままにし紛失をしてしまうことや、ポケットに鋭利物(安全ピン等)が混入しけがをする等の事故が発生していることから、当院ではポケットのないタイプの病衣を使用しています。使用上の不便さがございますが、ご理解くださいますようお願いいたします。
歯科の開設について	『北部病院にも歯科の診療を作ってほしいです』とのご意見をいただきました。 現在、歯科の開設の予定はございません。入院中の方で歯痛がひどく緊急の歯科治療が必要な場合等は病棟看護師にご相談ください。今後歯科設置についての進展がありましたらご報告させていただきます。
駐車場の誘導について	『駐車場が中央棟も西棟も満車にも関わらず、次々に車が入場してくるので、運が悪いと全駐車階を何往復もすることとなり、今日は30分走ったままでした。入場制限をお願いします』とのご意見をいただきました。 当院の駐車場では各棟の駐車状況を把握しております。満車表示については、若干ゆとりを持って設定していることから、待ちが多く発生した場合には状況に応じて強制的に何台か駐車場内に誘導する事を行なっていますが、駐車可能台数範囲内で運用を行なっています。今回の場合は、満車状態の際に各フロアに点在している空きスペースが見つからず、ご迷惑をおかけしたと思われる。現在、当院の駐車場が満車になるのは午前中の限られた時間で月に数回程度です。運用を調整して患者様の駐車台数を確保させていただきましたので、このようなことは解消されると思われるのでご了承ください。
携帯電話の使用について	『会計前ロビー等で携帯電話を使用している人が多い。職員は注意をしない。注意をしないのであれば、携帯電話使用可能にしたらどうか』等携帯電話に関するご意見を複数いただきました。 病院内では医療機器の誤作動をきたす可能性があることから、携帯電話の使用を禁止しております。携帯電話使用禁止のポスターは院内至るところでの掲示しており、院内来訪者に協力をお願いしております。また、職員も携帯電話を使用している方を見かけた場合注意するよう心がけておりますが、再度周知徹底いたします。
受付票の回収について	『使用済み(診察終了後)の‘受付表’の回収ボックスがあると便利では・・・』とのご意見をいただきました。 受付表や基本カードについては患者様に管理・処分をお願いしております。これらには患者様のお名前、受診される診療科や予約内容等の様々な個人情報が記載されているため、不要になった場合には裁断する等して処分する事をお勧めします。
採血室の受付について	『採血室の受付開始時間はなぜ8時25分からなのか。8時前から患者は待っている。』とのご意見をいただきました。 採血開始時間は8時30分となっております、受付は8時25分開始となっております。採血時間を早めることは、単に採血室だけを早く開始すれば対応できるわけではなく、他の関連部署も同時に対応する必要があります。当院においては現在、外来は8時30分から開始する事を原則としていることからご了承願います。 なお、受付開始時間前に来院された患者さまは順番で並んでいただき、早くお越しになった方から順番に採血をさせていただいております。

編集後記

7月下旬の梅雨明け宣言は幻であったかと思わせるような冷たい日々がようやく終わり、本来の夏が戻ってきました。しかし、カレンダーに目を転じるともう秋は目前に迫っており、少しばかり驚かされます。例年の猛暑よりはからだが楽だと感じられていた方が多かったのではないのでしょうか?今年の熱中症の話題はもっぱらヨーロッパから聞こえ、わが国の新聞上ではあまり見かけませんでした。しかし、9月になろうかというときから酷暑はやはり復活してきました。火星が近づいてきたから?などという口マンも膨らみます。夏よりも暑い秋になるかもしれません。今までの過ごしやすさに油断することなく、新たに気を引き締めて「暑」長月を迎えることにしましょう。

広報委員会 委員 福井 俊哉

北部病院だより 第12号

平成15年9月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がダウンロードできます。

北部病院だより 第12号

第12号【2003/09/01 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

「患者さんの時間を盗むな」

放射線科科長・教授 榎橋 民生

イベント情報

夏祭り(W3病棟・4B病棟)

ピアノコンサート(会計前ロビー)

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者様からのご意見・ご要望



コスモス 8/22 都筑中央公園にて

巻頭言

「患者さんの時間を盗むな」

大学に勤務する医師の仕事は臨床、教育、研究の3つです。我々放射線科医の臨床は、画像診断、画像診断的介入(IVR;インターベンショナル ラジオロジー) 放射線治療の3つです。放射線治療は直線加速器(linear accelerator;略してリニアックまたはライナック)を用いた電子線や高エネルギーX線による腫瘍の治療です。IVRは放射線診断技術の治療的応用、すなわち、CTなどを用いて、体内の腫瘍などに針をさして、組織を採取することや、血管カテーテルによる閉塞術や薬物注入などの治療です。最後の診断ですが、我々は完全フィルムレスの昭和大学横浜市北部病院の全画像検査をモニター上で読み、異常な所を指摘し、考えられる病気を文章として、電子カルテに短時間で見える様にしています。これにより臨床医が画像検査をみる時間は短縮され、本来の診療に専念できるとされています。最終的には医療の質と患者サービスの向上につながるわけです。

近年、テレラジオロジー(遠隔放射線診断)の発達、普及は目覚ましいものがあります。我々も多くの遠隔地の病院の多種多様なCT、MRI画像を目にする機会が増えています。まだまだ画質、検査法に関してのばらつきが目立ち、毎日厳しく鍛えられている我々の診療放射線技師(レントゲン技師)のレベルは大したものだとうれしくもなります。放射線科医の仕事や

役割は前に述べましたが、大学病院内の放射線部としてみると、医師とは別に診療放射線技師、看護師、受付やトランスクリパー(レポート作成タイピスト)などの事務職員など多くの人々から構成されています。これらの仕事の分担は、はっきりと分かれており、各々の部門ではいかに患者さんに気持ち良く、スムーズに放射線部の検査や治療を受けて頂くかを改善し続けています。我々医師が数分で読影している検査画像も多くの方々のおかげにより、良質なものが作られているのです。この、我々の放射線部も開院から2年半近くが経とうとしていますが、その間に私が放射線部の職員にお願いし続けていることは「患者さんの時間を盗むな」という一点です。私も50代となり、つまらない事で待たされることに非常に腹が立つようになりました。これは、短気というだけではなく、私の残りの人生が短くなって来たために、つまらない事で人生の残りの時間を使われたくないという気持ちの現われだと理解しています。ですから、患者さんを待たせて、その方の時間を盗むことは非常に良くないことと考えています。検査が集中して待ち時間が伸びることは多々ありますが、それを当然の事として対処するのではなく、全員が努力して、待ち時間を少しでも短くし、患者さんの時間を多く盗まない様にすべきです。朝早くから来院されている患者さん、込み合っている中で、急ぎ足で移動する患者さん(私も1回車椅子にぶつかりました)、駐車禁止場所にも駐車して急ぐ患者さんなども、病院での時間をなるべく短くし、自分の人生の有効利用を望む気持ちの現われだと理解しています。

私も会議や集合時間には、少しでも早めに着けるように最大限の努力をしています。もし私のために開始時間が遅れたら、多くの人々の貴重な時間を盗むことになるからです。

北部イベント

病棟夏まつり



8月6日(水)午後2時から、西棟3階病棟にて夏まつりが行われました。病棟のデイルームにはスタッフが協力して作った屋台を設置されており、普段とはまるで別の(神社の境内を思わせる)空間に変化していました。

西3階病棟夏祭り風景

西棟3階病棟・中央棟4階B病棟

8月14日(木)には、中央棟4階小児病棟(4B病棟)にて夏まつりがおこなわれました。当日は、ポンポン釣りやスイカ割りをして楽しみました。残念ながら雨が降ってしまっていて、屋外でのスイカ割りや水遊びをすることはできませんでしたが、プレイルームや学習室で病棟のお友達や看護師さんたちと一緒に楽しく時間を過ごしました。

4B病棟夏祭り風景



ピアノ演奏会



8月7日(木)午後7時より、ロビーにおきましてピアノ演奏会が行なわれました。今回は、普段、ジャズのコンサートや、ホールでの演奏でご活躍されている、大山泰輝さんによる演奏会でした。当院では初の男性の演奏者の方で、当日はいわゆる「癒し系」の曲を弾いてくださいました。大山さんは今年に入ってから個人での活動をメインとしており、当日披露していただいた曲もその時に演奏される曲だそうです。

中央棟1階会計前ロビー

外来担当表

【2003/09/01 改定】

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

Table with 12 columns (Time slots: 午前, 午後) and 10 rows (Departments: 呼吸器, 消化器, 循環器, 精神神経科, 内科, 小児科, 皮膚科, 外科, 形成外科, 脳神経外科, 整形外科, 産婦人科, 泌尿器科, 眼科, 耳鼻咽喉科). Each cell lists the responsible doctor or staff member for that time slot and department.

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

9/1付【8/2~9/1】

紀平 弥生 (眼科)

昭和大学 平成3年卒

異動・退職医師

8/31付【8/1~8/31】

吉田 達也(消化器センター) 8月24日付
渥美 清子(眼科) 8月31日付

診療統計

2003年7月統計データ()内は1日平均
外来患者数 27,161人(1044.7人)、入院患者数 16,795人(541.8人)、救急車搬送件数 269人(8.7人)、手術件数 382件(17.4件)

放射線治療の外来日は、月火木金: 馳澤憲二です。